



# ims

## 通信



2025年 1月号

新年、明けましておめでとうございます。  
 旧年中は大変お世話になり、社員一同心より御礼申し上げます。  
 本年も、更なるサービスの向上に努めて参りますので、  
 より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。  
 皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。  
 本年も宜しく御礼申し上げます。

「七草粥(ななくさがゆ)」とは、  
 1月7日「人日の節句(人を大切に作る日)」の朝に「春の七草」を入れたお粥を食べて  
 無病息災を祈願する習わしのことで、消化の促進や冬場に不足した栄養を補う目的の他、  
 早春に芽吹く若菜から力強い生命力を分けてもらう意味合いがあります。

▶**芹(せり)**・・・セリ科の多年草で、競るように群生することから「競り(せり)」と呼ばれている。  
 香りが良く、おひたし・ごま和えなどの料理にぴったり。  
 薬効は消化促進と血液増強で、「競争に競り(せり)勝つ」意味合いがある。

▶**薺(なずな)**・・・弥生時代に中国から伝わったアブラナ科の植物。実の形が三味線に似ていることから  
 別名「ペンペン草」と呼ばれる。名前の「ナズナ」は、撫でてみたいくらいに  
 可愛い草(＝撫で菜【なでな】)であることに由来。  
 薬効は「内蔵機能強化」と「高血圧予防」で、「汚れをなでて除く」縁起がある。

▶**御形(ごぎょう)**・・・キク科の植物で白くてやわらかい特徴。昔の草餅の材料で「母子草(ははこぐさ)」の異名を持つ。  
 咳・吐き気止めの薬効の他、デトックス効果もあり、最近ではハーブティーにも使われている。縁起は「仏体(御形)」。

▶**繁縷(はこべら)**・・・ナデシコ科の植物で、別名を「はこべ」という。中国では古くから産後の薬草として用いられていた。  
 主な薬効は「利尿作用」で、「繁榮してはびこる」の縁起が込められている。

▶**仏の座(ほとけのざ)**・・・見た目がたんぽぽに似ていて、花は紫色。現在でいう植物の「ホトケノザ」はシソ科の別種で、  
 春の七草に用いるのは、キク科の「コオニタビラコ(子鬼田平子)」。  
 薬効は「歯の痛み止め」で、名前の通り「仏の安楽座」としての意味合いがある。

▶**菘(すずな)**・・・アブラナ科の植物で「蕪(かぶ)」のこと。  
 花の形が鈴に似ていることから「すずな(鈴菜)」と呼ばれる。薬効は「消化促進」で「鈴が神を呼び寄せる」縁起を担ぐ。

▶**蘿蔔(すずしろ)**・・・アブラナ科の植物で、  
 いわゆる「大根(だいこん)」のこと。薬効は「胃痛・神経痛の緩和」で、「純真・純白で汚れがない」という意味合いを持つ。



### 【七十二候】

七十二候(しちじゅうにこう)は、  
 二十四節気をそれぞれ3つずつの季節に分けたもので1年では72の季節になります。  
 自然に目を向けると、四季折々の季節の移り変わりを感じることができます！  
 毎月一緒に季節の移り変わりを感じましょう！

《今月の七十二候》1月5日(土)～1月9日(水) 芹乃菜(せりすなわちさかう)

小寒の初候となり、「芹がよく生育する」という意味になります。  
 「芹」は春の七草にも数えられる多年草の植物であり野菜です。食べ物としての芹は、  
 1月から3月に旬をむかえることもあり、1月くらいから収穫が行われています。  
 まだ寒さの厳しい冬の最中、水辺に生える芹の様子を表現しています。

インスタ、ブログはじめました!!

ims 社員の日々の出来事やつぶやき、  
 情報提供など様々な内容を配信しております。  
 毎日更新中! 下記よりご覧いただけます!

ブログ



インスタ



災害時・緊急時含め弊社から  
 情報提供をさせていただきます。

メールアドレス  
 ご登録の際は、

本文へお名前(フルネーム)をご入  
 力下さい!

弊社HP



メールアドレス



〒239-0835 横須賀市佐原1-10-1  
 有限会社 ims (アイエムエス)  
 TEL:046-838-5522 FAX:046-838-5533